

学校給食の思い出



子どもたちのために
一生懸命作った給食

津高悦子さん（平福）

定年退職するまで、約25年間調理員として給食にかかわっていました。当時を振り返れば「今日の給食は何?」「おいしかった」など声をかけてくれる子どもたちの言葉や笑顔がうれしくて励まされていました。とてもいい思い出です。

今は、孫が学校から帰って「今日の給食はなあ…」と話をしているようで、家庭の中の何気ない親子の会話のきっかけにもなっているんだと感じます。学校給食は、1つのメニューにしても家庭では提供できないくらい多くの種類の食材が使われ、栄養が計算されています。成長期の子どもには欠かせない栄養を、おいしく食べられるよう工夫して提供していたんですよ。

学校給食の思い出



給食の準備も楽しい思い出

山口秀帝さん（大篠）

昨年、高田小学校で給食を食べる機会がありました。スパゲティがメニューで「子どもはこんなにおいしいものを食べているのか」というのが第1印象でした。私が子どものときは、カレーや鯨肉が楽しみでした。冬にストープで牛乳を温めたことや、牛乳に入るとコーヒー味になる粉末があったことなど、懐かしいですね。給食の準備もみんなでワイワイ楽しくしたことをよく覚えています。

子どもにも、みんなで協力して準備する、いっしょに食べる、こんな時間を大切にしてほしいです。



院庄小学校

学校給食には役割がある



- 学校給食の目標**
- ①日常生活の食事について、正しい理解と望ましい習慣を養う
 - ②学校生活を豊かにし、明るい社交性を養う
 - ③食生活の合理化、栄養の改善および健康の増進を図る
 - ④食糧の生産や配分、消費について正しく理解させる

【学】学校給食は、昭和29年に制定された「学校給食法」に基づいて「児童および生徒の心身の健全な発達に資し、かつ、国民の食生活の改善に寄与するものであること」を目的に学校教育活動の一環として実施されています。その中で、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、好ましい人間関係を育てるなどの多様な教育的ねらいを持っています。

●調理方式は2通り

単独校調理場方式	学校の中にある調理室を使用して給食を作る方式です。阿波地域と津山地域の小学校20校が該当
共同調理場方式	学校給食センターで複数の学校の給食を作り配送する方式です。加茂・勝北・久米地域の小中学校11校が該当

市内の小中学校の状況は、津山地域の中学校5校が未実施（牛乳のみあり）。加茂中学校が補食給食（おかず・牛乳）、その他の小中学校は完全給食※を実施しています。
※主食（米飯・パン・めん類）とおかず、牛乳を組み合わせた給食

学校給食の実施状況は？

☆**栄養バランスの良い給食を**
学校栄養職員や調理員、教職員などで作る「献立作成委員会」で栄養バランスや子どもたちの嗜好を考慮しながら献立を決定。おいしく栄養バランスの取れた給食を提供しています。
また、地場産物や季節の食材を積極的に活用するよう努めています。

安全でおいしい給食を提供します！

☆衛生面で細心の注意

調理担当者は細心の注意を払って衛生的でおいしい給食を時間内に作っています。また、学校栄養職員は児童・生徒に対して食べるだけでなく、自分たちをはぐくんでくれる食材についての情報も提供しています。

津山市が直面している課題

地域間格差

一番の大きな課題は、津山地域5つの中学校で給食が実施されていないということ。生徒は毎日、弁当を持参しています。他の地域の中学生が、給食を通して行政サービスを受けているのに対し、同じ中学生でも津山地域では受けられない現状があります。



施設の老朽化

学校給食を実施している学校の中には、調理室の老朽化により修繕の必要がある施設もあります。

求められる食育

今、国では子どもたちに必要な教育として「知育・体育・徳育・食育」を掲げています。食育はこの中でも基本となるもの。市では津山地域に5人、その他の地域に1人ずつの学校栄養職員を配置し、食に関する指導を行っています。さらに国は食育をもっと進めるため「栄養教諭」の配置を目標として掲げています。今後、さらに求められる食育に対応できる体制作りが必要です。

学校給食の思い出



みんなと過ごした大切な時間

岸本光弘さん（中原）

子どものとき好きだったメニューは「鯨の竜田揚げ」と「ちくわの磯辺揚げ」ですね。脱脂粉乳とパンは毎日ありました。いなかの小学校だったので、ときには家で採れた大根や白菜を当番で持っていき、それが給食になることもありました。当時は家でパンを食べることも少なく、いろいろなものが食べられる給食は楽しみでした。アルマイトの食器の消毒のにおいも懐かしいですね。

みんなといっしょに同じものを食べて過ごした時間は、今になって思うと大切な時間だったと感じます。

学校給食の思い出



好き嫌いで困ったことも

北村早苗さん（小原）

好きだったメニューは焼きそばなどのめん類やカレーでした。反対にグリーンピースやニンジンが苦手です。友だちが遊び始めても、自分だけ給食が終わらなくて泣いたこともありましたね。私が通った小学校は1クラスたった9人。先生や友だちと机を並べておしゃべりしながら食べる給食の時間は楽しい時間でした。

現在、中学生の子どもは毎日お弁当で、それを小学生の妹がうらやまがっています。お弁当を通じた親子のふれあいもあるので、これがなくなってしまうのは寂しい気も…。でも給食にはメニューの豊富さや栄養バランスといった良さがあります。家で作ると、嗜好が優先されがちになります。おたがいの良いところをいかした形になればいいですね。